

令和4年度全国学力・学習状況調査 三郷市の分析（概要）

◆実施日	令和4年4月19日（火）
◆調査対象	原則として、市内の公立小・中学校の児童生徒のうち、小学校第6学年、中学校第3学年を対象とする。
◆調査目的	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とする。
◆調査事項	【児童生徒に対する調査】 1 教科に関する調査 小学校第6学年…国語、算数、理科 中学校第3学年…国語、数学、理科 2 質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する事項
◆教科に関する調査	1 平均正答率について 【小学校】 ○「国語」「算数」「理科」のすべてで、全国平均正答率を上回った。 【中学校】 ○「国語」「数学」「理科」のすべてで、全国平均正答率を下回った。 2 問題別の平均正答率について 【小学校】 ○「国語」では、「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」、「学年別漢字配当表で示されている漢字を文の中で正しく使う」問題において、全国平均正答率を大きく上回った。 ○「算数」では、「百分率で表された割合を分数で表すこと」、「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する」問題において、全国平均正答率を大きく上回った。 ○「理科」では、「メスシリンダーという器具の理解」を問う問題において、全国平均正答率を大きく上回った。 【中学校】 ○「国語」では、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」問題において、全国平均正答率を上回った。 ○「数学」では、「証明の根拠として用いられている三角形の合同条件」についての理解度を問う問題において、全国平均正答率を上回った。 ○「理科」では、「上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する」問題において、全国平均正答率を上回った。
◆質問紙調査	【小学校】 ○「将来の夢や目標を持っていますか」の質問で、持っていると回答する児童の割合が全国平均を大きく上回った。 ○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」で2時間以上と回答する児童の割合が全国平均を大きく上回った。 【中学校】 ○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」で2時間以上と回答する生徒の割合が全国平均を大きく上回った。 ○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」等の質問で、全国平均を大きく上回った。